

好みで。天保山を見て歩いた後には、少し濃いめの方が良いかと今回私はみそ仕立てにしてみました。他にも魚が豊富なのですが少人数では食べきれないので是非大人数でわいわいと出かけて愉しむことをお奨めします。

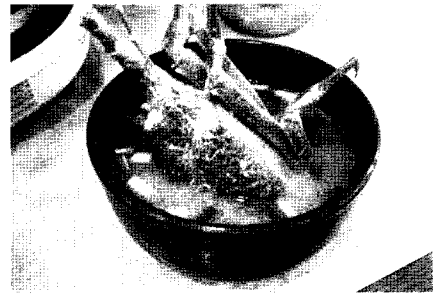
いろんなコースが用意されており、松竹梅の各コース（4500、4000、3500円）があります。中でも今回特にお奨めするのは5.5セット5500円（2名から）というもの。

各コース毎に違いますが、あら煮、クエ鍋、てっちりなどが選択できますがやはりお奨めの伊勢鍋を食べないと！

この5.5コースでは、伊勢鍋以外に①付きだし②活けの伊勢エビ舟盛りと③松葉蟹④伊勢汁⑤ご飯物⑥デザートと6品が付いていてお腹一杯になること請け合います。

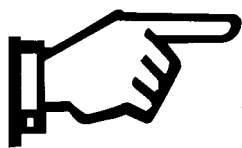
舟盛りに出てくる伊勢海老の食べれるところを食べたら、締め食事の際にこの頭をそのまま豪快にまっつたつにして作った伊勢汁（みそ汁）が用意されます。伊勢エビ

のみそがとけ込んで風味良くなったみそ汁とご飯物を食べて大満足！是非弊社近くへお越しの際にはこの伊勢鍋をご賞味下さい。



伊勢鍋

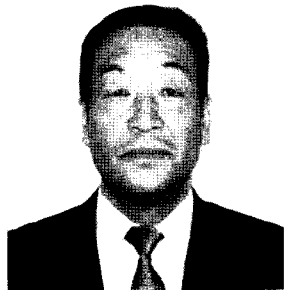
((株)岡田組 岡田 晃)



わたしの履歴書

岩盤削孔技術協会副会長
日本車輛製造機電本部長

宮川 俊介



宮川 俊介(みやがわ しゅんすけ)

昭和23年12月2日 石川県生まれ
昭和46年 日本車輛製造(株)入社
鳴海製作所長、機電本部技師長を歴任
平成19年 執行役員機電本部長に就任

■郷里・幼少時代・学生時代

日本三名園の一つである兼六園のすぐ近くで生まれ育って高校卒業までを過ごした。夏は近くを流れる浅野川で水泳や魚釣りをした。また冬は目の前に見える卯辰山に登り、北陸特有の水分の多い雪質の天然ゲレンデでスキーを楽しんだ。

山あり川ありの自然に恵まれた旧城下町、自然のトレーニングジム環境で育ったお陰で筋力がつき、中学・高校はハンドボール、高校・大学は陸上競技やり投げに励んだが、田舎の大將までで残念

ながら全国レベルには到達できなかった。

■社会に出て

S46年4月1日の入社式後、日本車輛松研修所にて初めての名古屋での社会人生活がスタートした。当時は3ヶ月間の新入社員合宿研修が実施されており、同期入社32名と1室5～6名で寝食を共にした。最初の食事で真黒い味噌汁(赤だし)が出たのにはびっくりした。白味噌で育ってきたので今でも名古屋名物の赤だし味噌汁は馴染めないでいます。

毎晩遅くまでグループまとめをやっていた以外、研修内容はあまり記憶にないが、時間フリーの学生生活からサラリーマン体質への移行には大いに効果がある合宿研修であったし、何よりも同期生との連帯感が強まったことが今なお事業部が違って社内での大きな支えとなっています。

建機部門の生産拠点である鳴海製作所に配属されて以来、今日まで機電本部一筋36年、製造11年間・設計25年間先輩達に鍛えて頂いたお陰で、建設機械への愛着・思い入れは誰にも負けないと自負しています。

■信条・趣味

スポーツは人と和を作る、と良く言われますが、スポーツ精神は企業のそれと相通ずるものがあり、個々の努力を集結するチームワークが一番大事だと思っています。

休日は居住地・大府市で、地域のボランティア活動とレクリエーションスポーツで仲間達と汗を流し、運動不足の解消と心身をリフレッシュしています。

■社員とのコミュニケーション

お陰様で我が基礎機械業界にもようやく活況のフォローの風が吹いてきました。当社も工場負荷が増え、増産体制にてフル生産に入っており、従業員にも活気が見られます。

製造部長時代の不況で苦しい時期には毎日数回、工場内を廻って一人一人に声をかけ、対話を心掛けていましたので、今も時間のある時は1時間程度ですが工場内を廻り、みんなの元気な顔を見てコミュニケーションを図っております。

■今後の展望

我が社は昨年、創立110周年を迎えました。又、建機部門がスタートして、今年で48年日になりました。機電本部創立50周年に向けて、これまで培ってきたお客様との繋がり・信頼関係・独自の技術力とサービス体制を基に、安全・環境を重視して、お客様にとって更に使い易く、更に性能・品質に優れ、使って良かったと喜んで頂ける基礎機械・発電機をご提供すべく、機電本部全員一丸となって頑張っております。

(日本車輛製造(株) 宮川 俊介)

編集後記

協会ニュース発刊にあたり、執筆者の皆様にはご多忙のところ協力頂きまして誠に有難うございました。

(編集分科会)